

え

る

の

あ

目次

報告 女性プラザ祭2023レポート…………… 1
女も男もワイワイセッションレポート …… 2・3イベント紹介 …………… 2・3
インフォメーション&トピックス…………… 4

報告 女性プラザ祭2023レポート

講演会 『幸福度6年連続1位のフィンランドは本当に幸せな国なのか』



【講師】

駐日フィンランド大使館広報部
プロジェクトコーディネーター
堀内都喜子さん

今回は駐日フィンランド大使館広報部の堀内都喜子さんをお招きしご講演いただきました。フィンランドの人口規模や気候、自然が身近にあるところが北海道とよく似ており、フィンランド人にとって家のすぐそばにある森は「家族の一番幸せな場所」という話から、人々は何に幸福を感じるのかを一緒に探っていきました。

最初は、フィンランドの手厚い社会保障制度についてです。税金を払うことは重要であり、社会保障制度を支えるために喜んで税金を払う、と80%以上の国民が考えているということ。それは多くの国民が社会保障制度の恩恵を十分感じており、政府を信頼しているからです。

今でこそ男女平等が進んでいるフィンランドですが、1970年代はまだ、家事や育児は母親の仕事だという考えが根強く、女性たちの社会進出に伴って、母親たちが子どもの預け先を求め、声をあげました。それにより、1973年に保育園法が制定され、1980年代には親の就労を問わず子どもを保育園に預けることができるようになりました。「誰でも通園制度」の導入をようやく検討し始めた今の日本より約40年も早くフィンランドでは男女共働きを前提とした仕組みを取り入れ、実現しています。18才まで無料の義務教育、安価で安心の保育制度、妊娠期から就学前までの子供の発達と成長を支え、家族の支援を行うネウボラ、育児パッケージの支給など、家族全体を支える制度が整っており、質の高い教育を保障し、お金の有無や出自に関わらずやりたいことが実現できる、自分の心に従ってキャリアの幅を広げられる、それが人々の幸福感につながっているようです。職場環境においても、有給休暇を100%消化し、4週間ほどのバカンスを目いっぱい満喫する、日常から離れ十分な休息をとるからこそ、休み明けに勢いよく働けるのだと教えてくれました。

2019年に世界最年少で首相になったサンナ・マリン元首相はレインボーファミリー（子どもがいる同性カップル）の出身です。同性婚や事実婚も多く、選択式夫婦別姓も導入されており、結婚や家族のかたちにこだわらず、本人の望む人生を歩める、多様性を認め一人一人を大切に、固定概念にとらわれず柔軟な社会をつくる、そうした考えはフィンランドでは当たり前。また、有権者5万人以上の署名を集めると国会に法整備の要望ができる国民発案制度を利用して、2015年、同性婚が合法化されました。若い世代の人たちは自分たちの未来についても敏感で、気候変動や労働問題などについて激しい抗議活動をししばしば起こします。こうした社会活動を通じて、自分の意見を主張し交渉していく術が自然と身につくようです。国はそれらの活動を推奨し、国民に対し、社会の一人として貢献してほしいというメッセージを示しています。誰一人取り残さない、人こそが資源であり宝である、そんなフィンランドから私たちが学べることは何でしょうか。

講演の最後に、フィンランドの哲学者、フランク・マルテラの「自分で選択できること、生涯学び続け成長すること、他人を助け他者との関わりを大切にすること、身近に自然があること、この4つが幸せを感じられる秘訣である」という言葉を紹介していただきました。質疑応答や各関係団体、フィンランドファンの参加者からの挨拶や写真撮影に快く応じてくれた堀内都喜子さん。キートス!



インフォメーション & トピックス

パネルの貸出しについて

当プラザでは、所蔵するパネルを無料で貸出ししています。令和5年度は「あなたが望まない性的な行為は性暴力です」と題して、性暴力についてのパネルを作成しました。各自治体や地域での啓発活動に是非お役立て下さい。



(寸法/各:縦73.5cm×横52.5cm) 計8枚

※これまでに作成したパネルは、女性プラザホームページで閲覧することができます。申込方法など詳細についてはお問い合わせ下さい。

情報提供フロアよりピックアップ書籍 令和5年度新着図書から



ユー。
ジャニーズの性加害を告発して
カウアン・オカモト 著
文藝春秋



私の生理のしまい方
原 あいみ 著
KADOKAWA



**おしゃべりから始める
私たちのジェンダー入門**
清田 隆之 著
朝日出版社

**ドイツの女性はヒールを履かない
—無理しない、ストレスから自由になる生き方—**
サンドラ・ヘフェリン 著
自由国民社



つむぐマルシェ

女性プラザでは今年度、一般社団法人North-Womanと共催で、女性起業家のチャレンジを応援するイベント「つむぐマルシェ」を実施しています。

不定期開催ですが、これまで月一回程度のペースで、6階交流フロアと会議室を会場に、新進の女性起業家らが集まり、自身のハンドメイド作品やリフレクソロジー、占い、食品などを出展、披露しています。また、イベント名にもある通り、女性起業家たちが情報交換したり、新たな出会いにつながったり、ご来場のお客様と交流する場ともなっています。

ワンコインから利用できるメニューも多数あり、気軽にサービスや商品をお試しできます。次回は2月26日(月)に開催予定!皆さまお気軽にお立ち寄りください😊



女性大学

オンライン受講のご案内

公益財団法人北海道女性協会(女性プラザ指定管理者)では「えるのす連続講座～女性大学～」を年2期、実施しています。

健康、生活、文学など、毎回違った内容で構成する全10回の講座です。

オンライン併用開催(オンデマンド型)としているため、札幌市外にお住まいの方でも受講可能です。4月から第1期の受講生を募集します。

詳細は北海道立女性プラザのホームページ(<https://l-north.jp/>)をご覧ください。

- 「えるのす」「道立女性プラザ」に対するご意見、ご感想、ご要望などをお寄せください。
- 「えるのす」は女性(Lady)の頭文字と、北(North)の造語です。

発行/北海道立女性プラザ(指定管理者:公益財団法人北海道女性協会)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 6階 ☎(011)251-6329・6349

【ホームページアドレス】<https://l-north.jp/>

(休館日:日曜・祝日・年末年始) (開館時間:月～金9:00～21:00、土9:00～17:00) *お問い合わせは9:00～17:00にお願いします。